

先行きに対する不安は誰でもあります。こういう時こそ自分の人生経験だけに頼らずに、長い人類の歴史や教訓に学んで参りましょう。

「不易流行」と芭蕉が言いましたが、**遠い未来を慮る者は、遠い過去を見ておく必要があります。**長く太い枝は、深く長い根で支えられるように、**未来は過去の中にヒントが含まれているものです。**我々の経営は、切り花や浮草ではありません。

艱難辛苦を経て日本の靴下を世界に知らしめた、わが師越智直正は、「わしに古典と先達が無かったら、今のわしは無いなあ」と、つくづく人類の残してくれた叡智に感謝しています。**どんな困難も、ほとんど九十九%は、過去の英雄・偉人が答えを出していると言います。**人類史上、自分が初めて出会う問題は残りの1%未満だということです。実際、「コロナ禍」も、長い歴史の中では、何度も何度も経験し、その都度、困難を乗り越えて来たのです。スペイン風邪やコレラ等の疫病にも、人類は絶望することなく越えて来て、今日を迎えているのです。

コロナ禍は見方を変えれば、「生物兵器」という新型の戦争を仕掛けられたとも言えます。支那事変から大東亜戦争に、我が国が引きずり込まれ、挙げ句に「侵略戦争の張本人」に仕立て上げられたことは、過去の事ではなく、これからの貴重な教訓にすべきことです。過激ですが、日本以外の国は、みな「腹黒い」のです。

有りもしない「慰安婦問題」で、莫大な国民の血税を支払、いまだに問題がこじれているのは、時の政治家の無知から来ています。ベトナム戦争時に、数千人から二万人の「ライダハン」と呼ばれる子供を産ませ責任を取らない国が韓国です。

数兆円のODAを受け取りながら、何の感謝も表明せず、その資金を、他の国に横流して自国の支配下に置く「支那」という独裁的な共産国家もあります。

リメンバー○○○といえ、如何にも自国は正義の国だと言わんばかりですが、リメンバーに「アラモ」や、「メイン」を入れて調べて見てください。真珠湾攻撃は、だまし討ちだったのでしょうか。真実は、アメリカこそ加害者なのです。

**歴史を正しく知ることや古典に学ぶことで、不要な心配や取り越し苦労をせずに済みます。精神衛生上も非常にいいです。正々堂々と、信じる道を邁進できます。**

社員さんは、社長のその姿に、安心してついて来てくれるのです。

もし、社長が、こういう勉強をせず、自分の経験のみで判断していたら、毎日毎日へとへとに疲れ、不安と心配で体調まで崩してしまおうでしょう。そういう時の判断は、えてして誤るものです。

今こそ「不易流行」を、しっかりと身に付けて、正しい判断をしてください。コロナ後に向けて、夢と勇氣を持って、明るくチャレンジして参りましょう。

今月のポイント

愚者は経験に学び

賢者は歴史に学ぶ

